



日本の安全保障を防衛装備庁が支えます

防衛装備庁



業務内容

防衛装備品の適切な研究開発や生産、維持整備等は、我が国の安全保障上、極めて重要です。特に、「厳しさを増す安全保障環境を踏まえた技術的優越の確保」、「諸外国との防衛装備・技術協力の推進を含む産業基盤の強靱化」などが重要な課題となっているところです。また、防衛装備品の一層効率的な取得や、コスト管理の徹底を図るためには、構想から研究・開発、量産・配備、運用・維持、廃棄といったライフサイクル全体を通じた、一元的かつ一貫したプロジェクト管理が必要となります。防衛装備庁は、このような課題に効果的・効率的に取り組んでいます。

採用後の勤務等（異動・研修）

2～3年のサイクルで人事異動があります。庁内での異動のほか、防衛省の様々な機関での勤務や地方勤務、場合によっては、他省庁勤務や海外勤務の機会もあります。また、採用1年目の初任研修、調達・会計研修、国際関係研修など、役職や業務内容に応じ、様々な研修が用意されています。

職員数

約1,800名の職員が勤務しており、その内訳は、行政職約900名、研究職約500名、自衛官約400名となっております。



主な仕事の内容

装備政策の企画・立案業務【事務系】

防衛産業等の情報保全に関する業務を担う部署で、関係各部署との調整、国会業務を担当しています。

（装備政策部所属・平成28年入省（一般大卒））

装備品の調達業務【事務系】

自衛隊が使用する装備品の調達業務を担う部署で、燃料、被服、食料などの契約業務を担当しています。

（調達事業部所属・平成30年入省（一般高卒））

装備品の研究開発業務【技術系】

自衛隊が使用する将来の装備品に関する研究・試験を担う部署で、車両の機動性の解析及び評価技術に関する調査・研究業務を担当しています。

（研究所所属・平成29年入省（一般大卒・機械））

先輩からのメッセージ

説明会に参加しておく顔を覚えてもらったり、雰囲気慣れて面接での緊張が和らいだりするというメリットがあります。自分の働く姿をイメージし、また官庁訪問で自分の本気度を伝えるためにも、実際に働く職員と話せる機会を活かしていきましょう。

（平成30年入省（一般大卒））

問い合わせ先

〒162-8870

東京都新宿区市谷本村町5-1

防衛装備庁

長官官房人事官付採用担当

TEL:03-3268-3111

（内線：35823、35824）

<https://www.mod.go.jp/atla/>



防衛装備庁HP
QRコード